

同窓会案内

深まろう 高まろう
つながる会員 つながる大学
～新しい時代にふさわしい豊かな活動を～

明治 21 年創立
横浜国立大学教育学部同窓会

友松会

ゆうしょうかい

教育系学部の伝統ある同窓会に入会ください

友松会は、明治21年(1888年) 神奈川師範学校同窓会として発足し、横浜国立大学学芸学部、教育学部、教育人間科学部と学部名は変わりましたが、2018年で130周年を迎えました。会員は、これまでに5万人を超え、県内はもとより全国の教育界、実業界、芸術・スポーツ等の分野で広く活躍しています。



会名の由来

明治 21 年、同窓会の発足に当たり、会則の第 3 条に次のような記載がある。
「本会会員ハ皆曾テ縣校ニアリ 朝夕松樹ヲ友トシ、同窓ニ苦学セルヲ記センガ為、神奈川縣友松会ト名ヅク」



横浜市老松町にあった神奈川県師範学校

最近の活動紹介

2019年10月5日(土) 横国 Day 友松会主催イベント

『豊かな教育を考える会』シンポジウム

これからの教師を語る レポート



藤馬 享 とうま すすむ S53卒
元・横浜市立大曾根小 校長
横浜市立の小学校の教員を 25 年、その後教育委員会、校長職を退いて 4 年目です。



瀧澤 沙恵 たきざわさえ H29卒
川崎市立末長小学校 教諭
小学 2 年の担任。「先生は楽しい」と直ぐには言えず、悩みながら働いているところ。



吉田 泰成 よしだ たいせい
教育学部 4 年生
特別支援教育コース。教員採用試験 (小学校) を受けました。特技は「けん玉」。



杉山 久仁子 すぎやまくにこ S60卒
教育学部学部長 コーディネーター
教員採用試験を受ける学生が半分位しかいないが、友松会に後押ししてもらっています。

今回は、これからの教育現場を支えていく学生、現職教員、退職教員、学部長がシンポジストとして参加しました。

学生の吉田さんからは、「ならぬことはならぬ」ということを子どもたちにどう教えていくか、瀧澤さんからは、「褒めること・叱ること」について、藤馬さんからは、「若い人たちが考えていることや悩んでいることを聞きながら学校現場で感じたことを話せたら」、学部長からは、「横国大の教員養成の理念」に関する話等が話題となり、会場全体で活発な議論がくり広げられました。

また、4 年生の I さんから横国大の教員養成理念に関する杉山学部長の話に賛同の「ハウ・ツーだけでは対応できない。」

旨の発言がなされ、会場から大きな拍手が寄せられました。

現在、教員を希望する学生に「ハウ・ツー」を教える学校が多いと耳にします。学部長から、「横国大はハウ・ツーを教えるようなことはしない。教員になりたかったら自分で勉強すべきであるし、何が必要か自分で考えて行動を起こすことが大事なのだ。そうでないといざというとき自分で判断することができない。横国大は『自分で考える』ことを重視し、判断や決断のできる人間を育てている。」という学部長の話への I さんの発言だったのです。

参会していた OB から「学校の理念が聞けて良かった」「横国大の卒業生でよかった」「来年の横国 Day にシンポジウムを続

けてほしい」「大学、学校、教育委員会全体で学生を育成していくという学部長の考えに全面同意します」「一人でも多くの国大生が先生になってくれることを期待しています。国大生は神奈川の未来ですから」等いろいろな声が聞かれました。



会場からも活発な意見が

学生を応援

学生の就職支援をしています。

就職へ向けた支援を行い、社会人への門出についていねいに対応します。学部全体、単位取得への直接支援など、きめ細かく行います。



採用試験対策講座 - 模擬面接



内田 涼太 H29卒

私は、S市を中学校保健体育の枠で受験致しましたが、大変有難く合格致しました。2017年4月より正式に採用され、晴れて中学校保健体育科教員として教壇に立っています。

夏休みの直前対策にて、友松会の皆様にご指導賜ったことが大変な自信となり、試験では私の持ち味を発揮することができたと感じております。

学生Hさん 「自分が気づいていない個所を指摘していただけたのは収穫だった。思ったより本番の形式に近く、臨場感を持って臨めたように思う。本番に向けて具体的に勉強すべき知識も分かって良かった。」

学生Bさん 「厳しい意見も沢山頂いてとても勉強になりました。実際に面接官を経験されている先生方に見ていただいたことで、的確なアドバイスを受けました。本番に近い形を体験できて良かったです。」

先輩からのメッセージ



中込 千晴 H30卒
新鶴見小学校勤務

どんどんチャレンジ

4年生になる直前まで進路に悩みましたが、教師という道を選び今は毎日忙しくも楽しく過ごしています。やりたいことを見つけたら迷わずチャレンジ!たくさんの人と関わりたくさんの経験をしてください。経験、努力は必ず最後に助けてくれます。

親睦を深める

総会・新春のつどい



学生会員は特別優待会費「学割」で気軽に参加いただけます。

卒業を祝う会

学生会員の社会への門出をランチと共にしながら祝います。



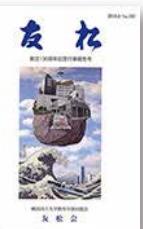
支部総会・懇親会

神奈川県下に42、大学、東京に支部があります。会員相互の親睦、研修を中心にOBと若手との交流を図っています。

同期会

同期生相互の親睦を図るために、同期会世話人を選出。2年に1回、同期会世話人代表者会を開き情報交換しています。2016年度から卒業時に世話人を推薦。

会誌「友松」



明治22年に創刊された会誌は2019年で109号となりました。

入会案内

年会費 2500円のところ、10年分 20,000円（年 2000円）に割引

学生会員 2万円（10年分）の会費を入学時に 全員の入会をお願いしています。

- 1) 入学時ののみの払い込みで、在学中及び学部卒業後を含めた10年間の同窓会費とします。
- 2) 同窓会費2万円は校友会費2万円とともに、入学金等と一緒に新入生の名前でお振込み下さい。
- 3) 卒業後は支部に所属、または個人会員として再登録をお願いします。

4) 入学から10年間の会費です。11年目以降は一般会費（年2500円）をお支払いいただきます。

5) 途中での返金はいたしません。途中での入会は事務局へお問い合わせください。

※ 提出いただいた個人情報は、会員情報管理、会報・資料送付およびイベント開催等、同窓会活動の範囲内で利用させていただき、それ以外の目的では使用しません。



神奈川県師範学校・神奈川県女子師範学校・神奈川師範学校
横浜国立大学学芸学部・教育学部・教育人間科学部・大学院教育学研究科 同窓会

事務局 〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘53 横浜市教育会館3階
電話 045-326-6700 FAX 045-341-3537
E-mail : yuusyoukai@nifty.com HP : <http://www.yuusyoukai.org/>

友松会 HP



卒業生を応援

松沢研究奨励賞

すぐれた教育実践を表彰する賞を毎年授与。1969年より50年にわたり教育に携わる卒業生の熱意を応援してきました。

最近の受賞者



2019

見上 慎哉 (H24卒)



鈴木 貴久 (H14卒)



2018

井上 弘毅 (H29院卒)



太田 ゆり (H5卒)



2017

岩田 明 (H15卒)



尾上 知生 (H10卒)



2016

岩澤 進 (H4卒)



尾崎 誠 (H17院卒)